

授 業 科 目 名	英語科教育法Ⅱ	教 員 名	石 濱 博 之	免 許 ・ 資 格 と の 関 係	小学校教諭	必修
					幼稚園教諭	
授 業 形 態	演 習	担 当 形 態	単 独		保育士	
					こども音楽療育士	
科 目 番 号	SID324	配 当 年 次	3 年 後 期	卒 業 要 件	小幼コース	必修
単 位 数	2 単 位				幼保コース	選択
科 目 目 的	教科及び教科の指導法に関する科目（小学校）					
施 行 規 則 に 定 め る 科 目 区 分 又 は 事 項 等	各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）					
一 般 目 標	<p>小学校における外国語（英語）及び外国語活動の授業を作成し、模擬授業をやってみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実践に必要な基本的な指導技術を身に付ける。 ・授業づくりに必要な知識・技術を身につける。 					
到 達 目 標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 小学校段階に必要な授業実践に必要な「聞く力」「話す力」（やり取り・発表）「読む力」「書く力」を身につけることができる。 2. 英語に関する基本的な事柄（音声、語彙、文構造、文法、正書法等）について理解し、説明できる。 3. 教育機器の効果的な活用の仕方について理解し、指導に活かすことができる。 4. 学習状況の評価について理解し説明できる。 5. 英語指導の指導案を書くことができる。 					
授 業 の 概 要	<p>今までに学習した英語・英語科教育法Ⅰの内容を踏まえて、小学校における外国語活動・外国語の授業実践に必要な実践的な英語運用力を身につけて、英語に関する背景的な知識を理解して模擬授業を試す。</p> <p>グループを編成して、それぞれの課題について話し合い、課題を発表する。</p> <p>グループ活動と発表を随時実施する（アクティブ・ラーニング）。</p>					
ディプロマ・ポリシーとの関係	<p>本演習は、教育学部のディプロマ・ポリシーに掲げる「5. 教育実践力を身につけている。」「6. 教科・教職に関する基礎的・応用的知識を身につけている。」「7. 基礎的な英会話を身につけている。」を育成する科目として配置している。</p>					
授 業 計 画	<p>第1回： オリエンテーションー四技能を促進する小学校の英語授業について考えてみよう 外国語（英語）科・外国語活動の授業実践を想定する。</p> <p>第2回： 外国語・外国語活動の指導案を作成してみよう 話題を決定して、具体的な指導を作成する。（5・6年生用（1））</p> <p>第3回： 外国語・外国語活動の指導案を作成してみよう 話題を決定して、具体的な指導を作成する。（3・4年生用（2））</p> <p>第4回： ペアによる新言語材料の導入のスキットを考えてみよう ペアを編成してスキットを考える。</p> <p>第5回： ペアでスキットを発表してみよう 児童を想定してスキットを発表する。（受講生の嘉壽による編成）</p> <p>第6回： ペアでスキットを発表してみよう 児童を想定してスキットを発表する。受講生の嘉壽による編成）</p> <p>第7回： グループによる英語で自己紹介や他者紹介を考えてみよう グループで自己紹介・他者紹介を練習する。</p> <p>第8回： グループによる英語で自己紹介や他者紹介を考えてみよう グループで自己紹介・他者紹介を発表する。</p> <p>第9回： グループによるアクティビティの運用（1）（絵本の活動・紙芝居・歌（マザーグースの唄）の活動を考えてみよう）絵本の読み聞かせやマザーグースの唄を考えてみよう。</p> <p>第10回： グループによるアクティビティの運用（2）絵本の活動・紙芝居の発表をする。</p>					

	<p>第11回: グループによるアクティビティの運用 (3) 歌 (マザーグースの唄) の活動を発表する。</p> <p>第12回: グループによる模擬授業で教室英語を運用してみよう。(1)</p> <p>第13回: グループによる模擬授業で教室英語を運用してみよう。(2)</p> <p>第14回: アルファベットや正書法を含む平易な英語を書く力を考えてみよう。</p> <p>第15回: 異文化理解を含む言語と文化を意識した授業を考えてみよう。</p> <p>定期試験</p>
学生に対する評価	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内活動 (ペア・グループ活動による発表等) 30%、課題 (4回) 提出20%、定期試験40%、小テスト (語彙) 10%によって総合的に評価する。 ・授業内活動・課題の評価に関しては、授業内で具体的に扱い、類型化した形式で講評する。
時間外の学習について	<p>(事前・事後学習として週4時間以上行うこと。)</p> <p>事前学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前に次回で取り扱う項目を示し、具体的に読んでくるとよい参考資料を提示するので、様々な場所 (例えば、図書館) で確認しておくといよい。 <p>事後学習</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業で配布したプリンティング・マテリアルを確認することと同時に、小学校英語に関する配付物等を利用して、様々な方法論を身につけて励行する。
テキスト	<ul style="list-style-type: none"> ・授業ごとの課題を提示するプリンテングマテリアルを使用する。 ・『小学校学習指導要領 (『小学校学習指導要領 (平成29年度告示) 解説 外国語活動外国語編』 (文部科学省著 開隆堂出版 (2018)) ・『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 小学校 外国語・外国語活動』 (文部科学省著 東洋館出版 (2020)) ・西谷恒志編『THE 1500 CORE VOCABULARY FOR THE TOEIC TEST 改訂版』成美堂
参考書・参考資料等	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書『NEW HORIZON Elementary English Course 5・6』(東京書籍) (2020) ・教科書『Junior Sunshine』(開隆堂) (2020) ・『Let's Try! 1・2』(文部科学省著(2018)) ・『Let's Try! 1・2指導編』(文部科学省著(2018)) ・『教科内容学に基づく小学校教科専門科目テキスト』(鳴門教育大学(2014))
担当者からのメッセージ	<ol style="list-style-type: none"> 1. ペア・グループワーク (アクティブラーニング) を取り入れるので、自ら積極的に授業に参加する。 2. PCで指導案を作成することが望ましい。 3. ステップ・バイ・ステップで内容を提示するので、指導スキルを身につけていく。 4. 指導案の作成、及び教材・教具の作成をする。 5. 授業に集中する。
オフィスアワー	<ul style="list-style-type: none"> ・月曜日~金曜日 (12:10~12:50) 研究室 ・メールでも対応します。